

公益財団法人立石科学技術振興財団

2022 年度 事業報告

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

1. 事業の概要

【助成事業】

- (1)当年度は、4 月 7 日に研究助成(S)の助成金の交付を、6 月からは研究助成(A)(B)(C)の助成金交付を開始しました。
- (2)第 7 回立石賞表彰式・記念講演を、5 月 25 日にザ・プリンス 京都宝ヶ池にて開催し、受賞者の中村様、合原様の表彰と記念講演を行いました。式典の様子はオンライン配信を行い、多くの方に視聴いただきました。
- (3)2022 年度助成金贈呈式は、第 7 回立石賞表彰式・記念式典と同日の 5 月 25 日にザ・プリンス 京都宝ヶ池にて開催しました。会場には各助成プログラムの代表者に参加いただき、研究に対する決意を述べていただきました。ほかの助成金受領者の皆様は、ウェビナー形式で参加いただき、一人ひとりの研究課題を紹介し共有を図ることができました。
- (4)後期国際交流助成、国際会議開催助成は、例年どおり 4 月から 6 月までの間に募集を行ない、7 月から 8 月にかけて選考し、9 月の理事会にて選考結果を承認しました。それを受けて 9 月からこれらの助成金の交付を開始しました。
- (5)次年度の助成に向けて、8 月から 9 月に研究助成(S)、9 月から 10 月に研究助成(A)(B)(C)、10 月から 12 月に前期国際交流助成の募集を行ないました。
- (6)10 月から 1 月にかけて次年度の研究助成、前期国際交流助成を選考し、2 月の理事会でその結果を承認しました。
- (7)当年度に支出した助成・顕彰金は以下のとおりです。

()内は、内定件数、内定金額です。

研究助成(A)	31 件	小計	77,881 千円	(31 件	81,096 千円)
研究助成(B)	5 件	小計	28,795 千円	(5 件	30,155 千円)
研究助成(C)	10 件	小計	13,683 千円	(10 件	14,436 千円)
研究助成(S)	1 件	小計	30,000 千円	(1 件	30,000 千円)
国際交流助成	通期 9 件	小計	3,473 千円	(11 件	4,761 千円)
国際会議等開催助成	15 件	小計	14,100 千円	(15 件	14,100 千円)
立石賞	2 件	小計	10,000 千円	(2 件	10,000 千円)
			合計	177,931 千円	184,548 千円
			差異	▲6,617 千円	

【研究成果普及事業】

- (1)10 月に、前年度の助成研究成果を中心に編集した助成研究成果集【第 31 号】を発行しました。助成を行った研究の成果に加え、研究機関別の助成件数推移や過去の採択率など、研究者や外部資金を担当する機関に関心を持っていただける当財団のデータを加えました。助成研究成果集は、過去の助成金受領者、全国の大学・大学院、附属図書館、研究機関、および国公立図書館などに計 1,447 部送付しました。

公益財団法人立石科学技術振興財団

1.2 収支の部

- (1) 収入は、予算額 252,366 千円に対して、実績は 271,496 千円（予算比 107.6%）となりました。うち 31,000 千円を事業積立資産として積立を行い、決算額は 240,496 千円となりました。

主な収入として、オムロン株式会社株式の配当 249,375 千円、特定資産運用益 12,053 千円、オムロン株式会社およびオムロン関連会社計 5 社からの寄付 500 千円を受け入れました。また、雑収入では過去の研究助成に対する余剰金や、国際交流、国際会議開催助成がコロナ禍による順延や開催形態の変更により、あわせて 9,566 千円の返金が発生しました。

- (2) 支出は、経常費用予算額 243,930 千円に対し決算額は 245,786 千円（予算比 100.8%）となりました。うち、事業費は予算額 230,292 千円に対し決算額が 229,206 千円（予算比 99.5%）となりました。事業運営費は予算額 46,215 千円に対し決算額が 46,397 千円（予算比 100.4%）となりました。一方、管理費は予算額 13,639 千円に対して決算額が 16,581 千円（予算比 121.6%）となりました。新型コロナの影響が続く中、理事会、評議員会の実開催ができ、会議費・旅費交通費を中心に予算を上回る決算額となりました。

1.3 投資活動の部

基本財産であるオムロン株式会社株式の配当は、年間 92 円と見込んでいましたが、下期から 3 円増加し年間を通じて年間 95 円（上期 46 円 下期 49 円）となりました。これにより配当収入は 7,875 千円の増加となりました。また、事業運営資産 11 億円の運用益は 12,039 千円（予算比 116.3%）となりました。

1.4 事業積立資産

交付者の定めた用途に充てるために保有している資金（6 号財産）は期首資産額 180,000 千円であったものを、期中に取り崩し（減少）と積立（増加）を行い期末の資産額は 211,000 千円となりました。

以上の結果、期末資産は以下ようになりました。

流動資産	115 千円
基本財産（オムロン株式会社株式）	20,230,875 千円
（262 万 5 千株、1 株 7,707 円（3 月 31 日終値）で計算）	
特定資産（事業運営資産） 有価証券	1,100,000 千円
特定資産（事業積立資産） 預貯金	211,000 千円
その他固定資産	5,390 千円
合計	21,547,380 千円